

(株)京都産業振興センター	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
---------------	---------------------------

### 1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり, 「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

### 2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため, 業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については, 「目標年度」までの方針となる。

業務面	京都市勧業館の稼働率50%以上を安定的に確保できるよう営業活動に注力する。
財務面	今後も継続して京都市勧業館の指定管理者に選定されるよう盤石な財務基盤を構築する。
組織面	社員の資質向上を目指す。
その他	京都市の株式保有率を25%未満に引き下げするための環境づくりを進める。

### 3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに, 各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

#### (1)業務に関する取組

目標 「京都市勧業館の利用促進」						
取組内容	営業活動, 自主企画事業の実施及びホームページ・広告等の広報を通じて, 多目的に利用できる施設であることをアピールし, 新たな顧客を開拓していく。 なお, 京都市勧業館の指定管理受託期間が平成28年度までとなっていることから, 平成29年度の数値は記入していない。					
○指標	展示場の面積稼働率					
採用理由	稼働率向上は, 収入の増加に直結するため					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位: %)
	49.1	49.7	53.0	54.0	—	
実現方法	首都圏への営業活動を強化する。					

(株)京都産業振興センター	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
---------------	---------------------------

## (2)財務に関する取組

目標「税引前当期純利益の確保」						
取組内容	<p>指定管理者公募選定時の提案書に記載したとおりの額，またはそれを上回る額の税引前当期純利益（収支差額）が確保できるよう，収入の増加と経費節減に努める。</p> <p>なお，京都市勤業館の指定管理受託期間が平成28年度までとなっていることから，平成29年度の数値は記入していない。</p>					
○指標	税引前当期純利益(本社会計)					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：千円)
	26,122	16,500	17,500	20,200	—	

## (3)組織に関する取組

目標「業務遂行能力の向上と社会人としての基礎教養の涵養」						
取組内容	<p>全社員を対象にした研修を実施する。また，外部団体が実施する研修に参加し，個々の業務に関するスキルアップを図る。さらに，市のMICE戦略2020の推進に貢献できるよう社員の語学力の向上に努める。</p>					
○指標	効果的な研修の実施					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：回)
	3回	3回	3回以上	3回以上	3回以上	

## (4)その他の取組

目標「市保有の株式売却に向けた環境づくり」						
取組内容	<p>○平成27年度 → 専門機関に調査を依頼</p> <p>○平成28年度 → 調査結果について社内で研究</p> <p>○平成29年度 → 未定</p>					
○指標	進捗状況					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：—)
	—	—	調査・研究	調査・研究	未定	